



# ふじあさみ

## 「富士山の日」の催し、盛況のうちに幕を閉じる

富士砂防事務所では、「富士山の日」に関係市町が開催する関連事業に協力して講演、パネルの展示を行いました。

富士市開催の「なんでも富士山」では、富士山の赤色立体図を広げ富士山の成り立ちや火山災害の歴史などのパネルを展示を行いました。



見開き

### 「大沢崩れ（土砂堆積の状況）」

平成23年3月15日 静岡県東部を震源とする地震  
発生前後の地形変化

平成23年11月19日 土石流発生前後の地形変化

#### ■報告

砂防工事などの現地見学会

富士砂防事務所の安全パトロール及び工事安全協議会の実施

サイエンスワールドへの参加

赤色立体図は、地形を立体的に表すことができる新しい地図表現です。航空レーザ計測で得られた地形データから作られた赤色立体地図は、富士山の地形を鮮明かつ立体的に表現しています。

樹木や建物を除去することによって、富士山の細かい谷筋や、無数にある溶岩流の痕跡をはっきりと読み取ることができます。

## 大沢崩れ（土砂堆積の状況）

写真 - 1 平成23年11月 大沢崩れ

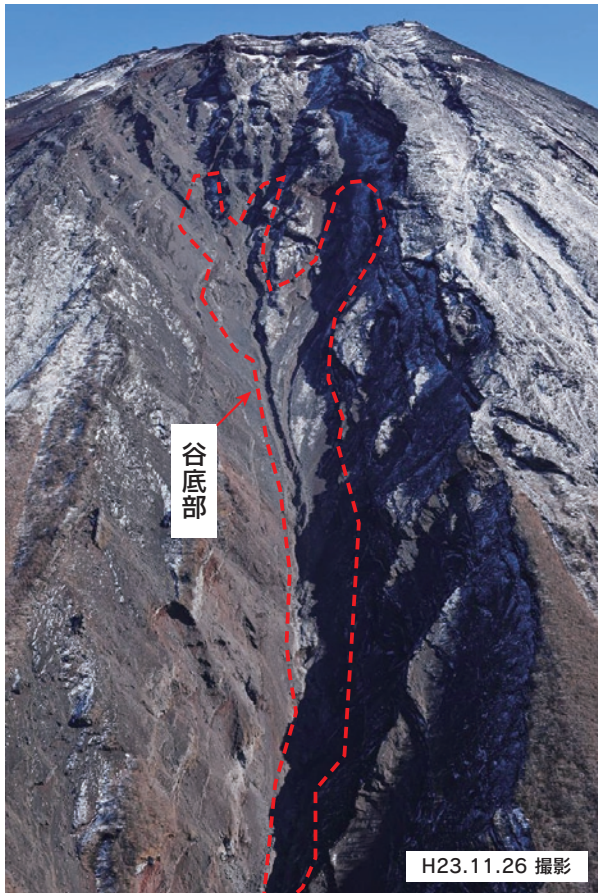
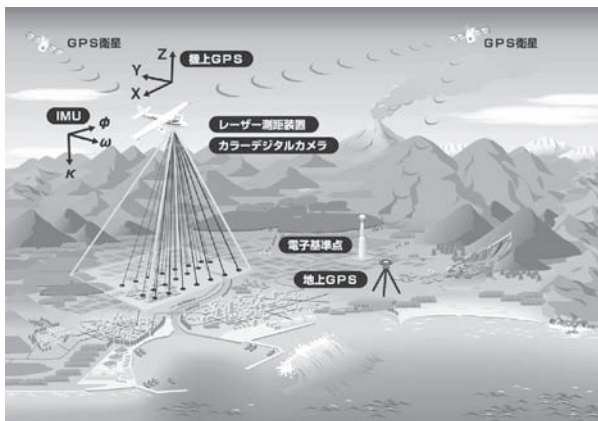


図 - 2 航空レーザ測量の概念図



## ～航空レーザ測量の原理について～

航空レーザ計測システムは、固定翼またはヘリコプターを用い、レーザを1秒間に3万～15万発を照射することで1～2m四方に1点の大変細かい間隔のデータが得られます。

富士砂防事務所では、富士山大沢川の源頭部から扇状地までの変動状況を把握するため、富士山源頭部の堆積土砂量について調査を実施しています。

- ・標高3,000m～3,500mにかけて、青色の箇所が多く侵食（土砂が減っている）傾向にあります。特に標高2,500m～3,500mにかけて谷底部は濃い青色で、侵食量が大きくなっています。これは8月～11月にかけての台風（降雨）によって、堆積土砂が流出したためです。
- ・全体として、この1年間では源頭部（山頂～標高約2,200m）から約26万5千立方メートルの土砂が峡谷部（標高約2,200m～約1,500m）へ流出しました。

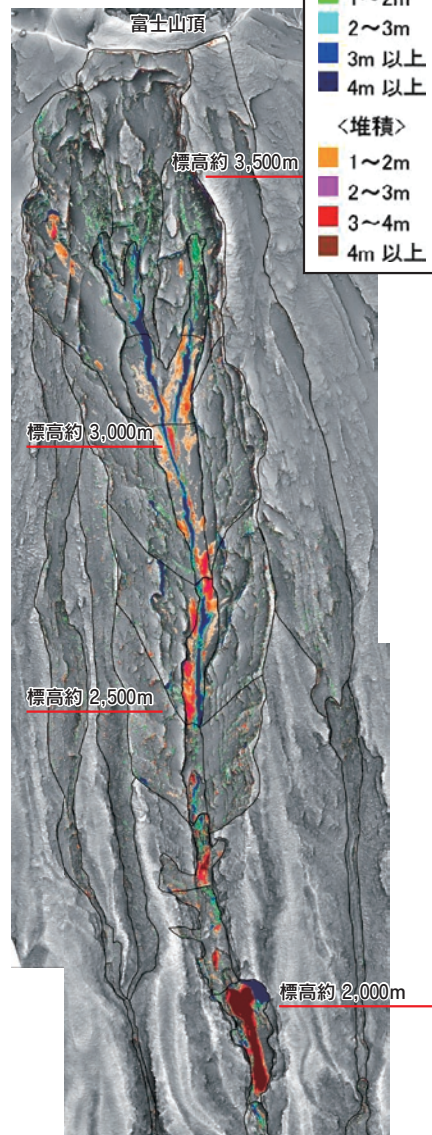
図 - 1 標高変動図  
(平成22年10月～  
平成23年11月)

図-1は緑色から青色に着色されている箇所が侵食されている箇所です。  
オレンジ色から茶色に着色されている箇所が土砂が堆積している箇所です。

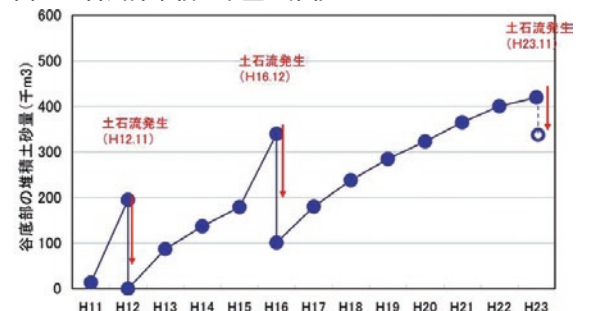
写真 - 2 平成23年9月の写真



写真 - 3 谷底部の堆積状況



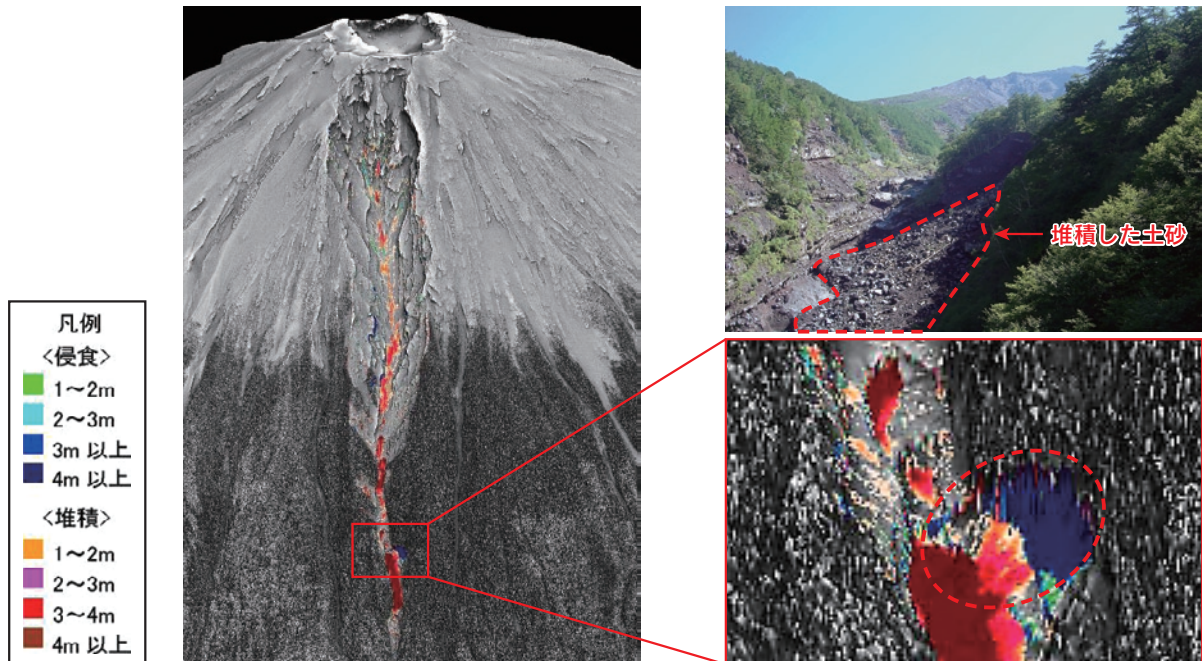
図 - 3 谷底部堆積土砂量の推移



## 平成23年3月15日 静岡県東部を震源とする地震 発生前後の地形変化

右の図は平成23年3月に発生した震度6強の地震を含む間の標高変動を表した図です。

- 拡大図の右側は3月15日の地震で斜面が崩壊したところです。このような地形の変化は標高2,000m付近で青く表示されます。
- また、拡大図の谷底部が赤色に着色されていますが、崩壊した土砂が谷底に堆積していることが分かります。

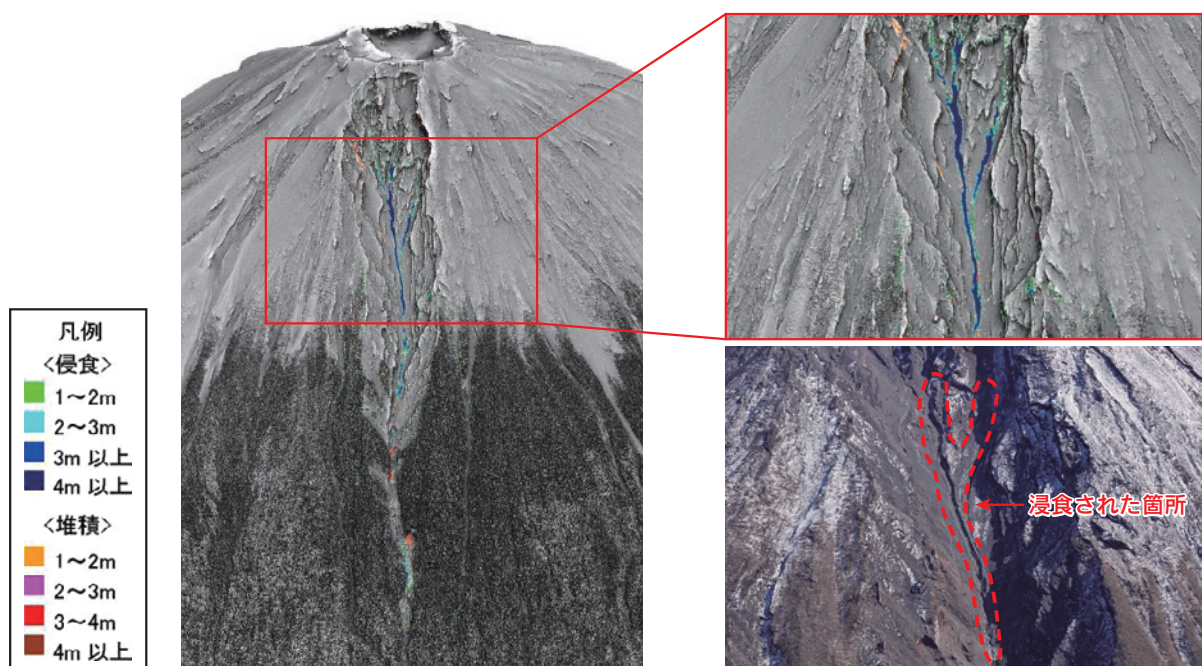


源頭部の標高変動図（平成22年10月～平成23年6月→平成23年3月に発生した地震を挟む8ヶ月間）

## 平成23年11月19日 土石流 発生前後の地形変化

右の図は平成23年11月に発生した土石流を含む約2ヶ月間の標高変動を表した図です。

- 谷底部には青く着色されている箇所が多くなっています。これは降雨により、土砂が侵食されたことを表しています。



源頭部の標高変動図（平成23年9月～平成23年11月→平成23年11月に発生した土石流を挟む2ヶ月間）

## 砂防工事などの現地見学会

富士砂防事務所では、砂防事業等への一層の理解を深めていただくために現場見学会を実施しています。本年は82件、3,821人の見学がありました。大沢扇状地や由比地すべりなどを見学してもらっています。現場見学については、平日に5人以上のグループでご案内しています。

現地見学会



12月12日 エチオピア研修生（JICA）

現地見学会



2月16日 沼津工業高校（土木科）

現地見学会



9月14日 要約筆記サークルふじざくら（富士宮市）

## 富士砂防事務所の安全パトロール及び工事安全協議会の実施

各工事現場では、工事作業中の事故発生を防ぐために、毎月1回、職員と施工業者が合同で各工事現場の安全パトロール（点検）を実施しています。

また、平成23年12月14日（水）に工事安全協議会を開催しました。工事安全協議会は毎年1回、工事現場での安全意識の高揚のために開催しており、今年は安全に関する工事現場での実践事例及び工夫等の紹介を行いました。



安全パトロール



工事安全協議会

## サイエンスワールドへの参加

富士宮市では、毎年10月に子供たちに実体験から学ぶことの楽しさを味わえる機会を提供し、科学に対する興味や関心を高めてもらうために「サイエンスワールド」を開催しています。今年は1月21日（土）に富士宮市民文化会館で開催されました。富士砂防事務所でも、土石流対策模型実験や衛星通信車を出展して土砂災害の発生のしくみと避難方法の説明を行いました。



衛星通信車



土石流対策模型

## ●ご意見・ご感想・ご質問など、お気軽にお寄せください。

富士山に関する古い写真・資料等をお持ちの方、また災害体験をされた方の情報提供をお願いします。

### 国土交通省中部地方整備局 富士砂防事務所

〒418-0004 静岡県富士宮市三園平1100

TEL 0544-27-5387

担当／調査・品質確保課 鈴木、富増まで

インターネット <http://www.cbr.mlit.go.jp/fujisabo/>

E-mail [fujisabo@cbr.mlit.go.jp](mailto:fujisabo@cbr.mlit.go.jp)

■富士宮砂防出張所

〒418-0103 静岡県富士宮市上井出1321-9

TEL 0544-54-0236

■由比出張所

〒421-3211 静岡県静岡市清水区蒲原新田2丁目16-8

（旧静岡市清水区役所蒲原支所議会議棟）

TEL 054-389-1202

「ふじあざみ」に掲載している内容・データ等は、現時点までに得ている調査結果を基本にしています。

今後の調査等の進展により、内容の一部または全部に変更が生じる場合もあります。